

大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE)
事後評価結果通知

| | |
|-----------------|---|
| 課題番号 | STSC30008 |
| 研究開発課題名: | ラボ・オン・ドローンの事業化検証に向けた大気エアロゾルのサンプルリターン機能の開発 |
| 研究代表者(所属・役職・氏名) | 名古屋大学 未来社会創造機構 特任准教授 小野島 大介 |

1. ビジネスモデル仮説検証の目的

花粉・黄砂・PM2.5等の浮遊粒子(エアロゾル)に由来する健康被害や感染拡大の解決に資するデバイス技術のテクノロジー・マーケット・フィットに向けたビジネスモデルの仮説検証を目的とし、目的地まで飛行してエアロゾルを採取する性質を持つ小型ドローンを MVP として開発し、大気エアロゾルの濃度分布や付着成分のデータを提供するというビジネスモデルと共に顧客候補の評価を受ける。また、ドローンを利用して有害微粒子のサンプリングと化学分析を行うソリューションの有効性や、ドローン技術による費用対効果が高く無人で制御可能な飛行の有用性を検証する。

2. ビジネスモデル仮説検証の概要

大気汚染に関する顧客ニーズの検証を目標に、大気汚染データ販売企業と大気汚染データ購入企業に関する市場調査や気象業界へのヒアリングにより、大気汚染データの関連業種の業界地図をマッピングし、北欧諸国やアジア太平洋地域で拡大するクリーンテック分野におけるプロダクト・マーケット・フィットの可能性を明らかにした。また、ドローンのバリュープロポジションの検証を目標に、ドローン機体の小型モデルによるエアロゾル捕集試験を実施した結果、健康被害の抑制効果が期待される捕集量のエビデンスデータを取得した。

3. 総合所見

ラボ・オン・ドローンのコンセプトを作り、気象情報会社と連携してサービスを提供するビジネスモデルを作成した点を評価する。引き続き、事業化に向けた活動の継続を期待する。

以上